

第4号議案 2017年度事業計画

(1) 2017年度事業計画

1) 第60回定時総会

- ・ 2016年6月20日(火) 学術総合センター 一橋大学 一橋講堂にて第60回定時総会を開催する。

(ICJ2017 (Imaging Conference JAPAN2017 (第119回日本画像学会研究討論会))会場)

2) 出版関係

①日本画像学会誌

- ・ 2017年度分6冊を発行する。
- ・ 2016年度と同様、全英文論文掲載のクラスタ論文誌を本年度も予定している。

②テキスト出版

- ・ 学会60周年記念として、出版委員会を組織化して、新規出版、既存テキストの改訂を企画中である。

3) Imaging Conference JAPAN 2017 (第119回日本画像学会研究討論会)

- ・ ICJ2017 (Imaging Conference JAPAN 2017)を2017年6月20日(火)、21日(水)、22日(木)の3日間、学術総合センターの 一橋大学 一橋講堂ほか、にて開催する。
- ・ この大会は画像関連学会連合会の共催行事となり、今回は同時期に日本写真学会、日本印刷学会、画像電子学会の年次大会も開催される予定である。

(幹事会社：株式会社リコー)

4) Imaging Conference JAPAN 2017 Fall

- ・ Imaging Conference JAPAN 2017 Fall (第120回日本画像学会研究討論会)を2017年11月に京都にて開催する。この大会は、2014年度より続く画像関連連合会(*1)としての第4回目の合同大会であり、2016年の合同開催を踏まえて、セッション構成、運営等に改革を行い、より多くの参加者を集めるべく企画設定を行う予定である。

(企画・運営：関西委員会)

(*1)日本印刷学会、画像電子学会、日本写真学会、日本画像学会の4学会で構成

5) シンポジウム (年間2回)

- ・ 関西シンポジウム：2017年5月12日(金) ハートピア京都にて開催の予定である。

(企画・運営：関西委員会)

- ・ 東京シンポジウム：新たな構成を企画委員会で検討予定である。

(企画：企画委員会)

6) 技術講習会 (年間2回)

- ・ 第81回技術講習会：2017年7月13、14日に、東京工業大学 すすかけ台キャンパス すすかけホールにて開催する。
- ・ 技術講習会 チュートリアル2017：2017年11月30日に京都工繊大学にて開催する (ICJFall と同時期開催)。

(企画・運営：事業委員会)

7) フリートーキング “Imaging Today” (年間2回)

- ・ 学会誌の特集 Imaging Today の執筆者を講師として気軽なトーキングの会を2017年度中に2回程度開催予定。
- ・ 第29回フリートーキング：2017年7月予定
- ・ 第30回フリートーキング：2018年1月予定

(企画・運営：編集委員会)

8) 技術研究会

- ・ 技術委員会の部会毎に研究会等を開催予定。現時点での開催予定は次のとおり。
 - 2018年1～3月(会場未定)： サーマル記録技術研究会
 - 2017年9月22日(発明会館)： インクジェット技術研究会
 - 2017年10月20日(日本化学会館)： 電子ペーパー/フレキシブル技術研究会
 - 2017年10月27日(日本印刷会館)： トナー技術研究会
 - 2018年1月26日(日本青年館)： 電子写真技術研究会
 - 2017年5月、11月(会場未定)： 画像感性部会セミナー/勉強会
 - 2017年12月8日(発明会館)： 関東シンポジウム
- ・ 技術委員会の新たな企画として、最新技術トピックスのシェア、ディスカッションの活性化、若手技術者の育成などを目的としたコミュニティを検討している。まずインクジェット技術に関して、『インクジェット技術交流会』を設立しており、5月から8月にかけて、見学会やセミナーなど4回の交流会を開催予定である。

9) イメージングカフェ

- ・ 平日夕方の時間帯で、仕事帰りに気軽に立ち寄り最新技術、昔話、他分野情報、専門知識などのテーマで講師からの話を聞き、意見交換ができる交流空間を、昨年度に引き続き、ほぼ月1回の割で開催する予定。17年度は、昨年度に続き関西地区での開催を予定。開催要項案は以下の通り。
- ・ 開催日・時間・会場：
 - 通常企画は、金曜日 18:30～20:20、会場：恵比寿カルフル
 - スペシャル企画は、15:00～19:50、会場：東京工業大学 大岡山蔵前会館
 - *開催日時、会場は都合により変更となる場合があります。
- ・ 参加資格：どなたでもご参加可
- ・ 参加費(通常企画)：個人会員(維持会員含まず)1,000円、個人会員以外2,000円
(サマー、年末スペシャルは上記参加費とは異なります。別途ご確認ください)

10) 関連学会との交流

- ・ 2015年度に発足した画像関連学会連合会発の研究活動である3Dタスクフォースの研究会を企画する予定。
- ・ 米国画像学会 IS&T が開催する国際会議 Printing for Fabrication 2017/NIP33 (2017年11月5日(日)～11月10日(金)、デンバー/アメリカ)に協賛するとともに、この準備会議に本年も協力する。
- ・ ICAI 開催を契機として国際交流委員会が中心となり、これに画像関連学会連合会の助力を加えて、中国、韓国、アジアパシフィック地域の画像関連学会とで年次大会等

への講師・参加者の相互参加、学会誌への相互の活動状況紹介等によりイメージング材料と技術に関する交流を継続する。

(2)2017年度学会暦

		2017年度											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
月		1									1 元旦		
火		2				1					2		
水		3	憲法記念日			2			1		3		
木		4	みどりの日	1		3			2		4	1	1
金		5	こどもの日	2		4 イメージング カフェ	1		3 文化の日	1 秋季合同大会	5	2 イメージングカ フェ	2
土	1	6		3		5			4	2 秋季合同大会	6		3
日	2	7		4	2	6		1	5 NIP33	3	7	4	4
月	3	8		5	3	7		2	6 NIP33	4	8 成人の日	5	5
火	4	9		6 IJ&DF技術交流 会	4 フリーターキング	8		3 第3回理事会	7 NIP33	5	9	6	6
水	5	10		7 IJ&DF技術交流 会	5	9		4	8 NIP33	6	10	7	7
木	6	11		8	6	10 228号発送	7	5	9 NIP33	7	11	8	8
金	7	12	関西シンポジウ ム	9	7	11 山の日	8	6	10 NIP33	8 関東シンポジウ ム	12	9	9 第6回理事会 評議員会
土	8	13		10	8	12		7	11	9	13	10	10
日	9	14		11	9	13		8	12	10	14	11 建国記念の日	11
月	10	226号発送		12 227号発送	10	14		9 体育の日	13	11 230号発送	15	12 振替休日	12
火	11	16 第1回理事会		13	11	15		10 229号発送	14	12	16	13 231号発送	13
水	12	17		14	12	16		11	15	13	17	14	14
木	13	18		15	13 技術講習会	17		12	16	14	18	15 第5回理事会	15
金	14	19		16	14 技術講習会	18		15 イメージング カフェ	17	15 イメージングカ フェ	19 技術委員会総会	16	16 イメージングカ フェ
土	15	20		17	15	19		14	18	16	20	17	17
日	16	21		18	16	20		15	19	17	21	18	18
月	17	22 IJ技術交流会		19	17 海の日	21		16 敬老の日	20	18	22	19	19
火	18	23		20 ICJ・総会	18	22		19	21	19 第4回理事会	23	20	20
水	19	24		21 ICJ2017	19	23		20	22	20	24	21	21 春分の日
木	20	25		22 ICJ2017	20	24		21	23 勤労感謝の日	21	25	22	22
金	21	イメージング カ フェ	26 イメージング カフェ	23 合同大会	21 第2回理事会 役員研修会	25 画像感性部会視 覚学会コラボセミ ナー	22 インクジェット技 術研究会	20 電子ペーパー/フレ キシブル技術研究 会	24	22	26 電子写真技術研 究会	23	23
土	22	27	24	22	26	23 秋分の日	21	25	23 天皇誕生日	27	24	24	24
日	23	28	25	23	27	24	22	26	24	28	25	25	25
月	24	29	26	24	28	25	23	27	25	29	26	26	26
火	25	30	27	25	29	26	24	28	26	30	27	27	27
水	26	31	28	26	30	27	25	29	27	31	28	28	28
木	27			29	27	31 IJ技術交流会	28	26	30 秋季合同大会 チュートリアル	28			29
金	28			30 イメージング カ フェ	28 IJ技術交流会		29	27 トナー技術研究 会 イメージング カフェ		29			30
土	29	昭和の日			29		30	28		30			31
日	30				30			29		31			
月					31			30					
火								31					

(3) 2017年度予算案
2017年度 日本画像学会収支予算案

2017年4月1日～2018年3月31日

(単位:円)

科 目	2017年度当初予算	2016年度当初予算	差 異	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
会 費 収 入	20,000,000	20,100,000	-100,000	
正 会 員 会 費 収 入	7,200,000	7,300,000	-100,000	退会抑制および入会促進により会員数回復
維 持 会 員 会 費 収 入	12,800,000	12,800,000	0	維持会社口数維持
事 業 収 入	18,110,000	17,920,000	190,000	
研 討 ・ 研 究 会 参 加 費	9,200,000	9,550,000	-350,000	2014年実績を超える企画
講 習 会 参 加 費	4,200,000	4,100,000	100,000	2015年実績を超える企画及びFallの充実複雑化
試 験 標 準 品 頒 布 収 入	2,000,000	2,400,000	-400,000	2016年以前の実績から策定
予 稿 集 ・ 技 術 資 料 頒 布 収 入	130,000	200,000	-70,000	2016年実績ベースで策定
出 版 物 頒 布 収 入	70,000	50,000	20,000	2016年実績ベースで策定
会 誌 購 読 ・ B N 頒 布 収 入	1,000,000	900,000	100,000	2016年実績ベースで策定
広 告 収 入	1,500,000	700,000	800,000	2016年実績ベースで策定
雑 収 入	10,000	20,000	-10,000	2016年実績ベースで策定
国 際 会 議 関 係 収 入	0	0	0	国際会議開催無し
受 取 利 息 収 入	10,000	20,000	-10,000	2016年実績ベースで策定
そ の 他 の 事 業 活 動 収 入	2,000,000	0	2,000,000	
そ の 他 の 事 業 活 動 収 入 (寄付)	2,000,000	0	2,000,000	ICJ2017でのKM財団講演会共催
事業活動収入計	40,120,000	38,040,000	2,080,000	
2. 事業活動支出				
事 業 費 支 出	27,750,000	26,810,000	940,000	
会 誌 発 行 費	9,000,000	9,700,000	-700,000	経費削減および60周年記念号発刊による増頁
研 討 ・ 研 究 会 開 催 費	9,500,000	7,510,000	1,990,000	ICJ会場経費増および新企画開催費
講 習 会 開 催 費	1,700,000	2,200,000	-500,000	2016年度実績および関西講習会の充実
試 験 標 準 品 作 製 費	1,000,000	1,200,000	-200,000	2016年以前の実績並み
出 版 物 作 製 費	1,000,000	500,000	500,000	新規出版準備費として計上
デ ジ タ ル 化 費	900,000	900,000	0	据え置き
学 会 賞 費	500,000	500,000	0	2016年以前の実績並み
諸 委 員 会 費	2,150,000	2,100,000	50,000	2016年度よりややアップ
理 事 会 ・ 評 議 員 会 ・ 総 会 費	1,500,000	1,700,000	-200,000	経費削減
国 際 会 議 関 係 支 出	500,000	500,000	0	国際会議準備基金としての積み立て
管 理 費 支 出	11,960,300	12,910,000	-949,700	
通 信 運 搬 費	400,000	400,000	0	据え置き
事 務 費	1,700,000	2,200,000	-500,000	業務委託支出を監視抑制し削減施策実施
事 務 員 費	9,000,000	9,550,000	-550,000	繁忙時臨時雇用により固定費抑制
事 務 機 械 化 費	210,000	200,000	10,000	2016年実績ベースで策定
雑 費	100,000	100,000	0	
租 税 公 課 費	390,300	300,000	90,300	
管 理 諸 費	60,000	60,000	0	
退 職 給 付 費 用	100,000	100,000	0	
法 人 税 等 支 出	70,000	150,000	-80,000	
そ の 他 の 事 業 活 動 支 出	0	0	0	
事業活動支出計	39,780,300	39,870,000	-89,700	
事業活動収支差額	339,700	-1,830,000	2,169,700	試験標準品販売益に頼らず黒字化
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
特 定 資 産 取 得 支 出	0	0	0	
器 具 備 品 取 得 支 出	900,000	300,000	600,000	
器 具 備 品 購 入 支 出	900,000	300,000	600,000	MFPプリンタ更新
投資活動支出計	900,000	300,000	600,000	
投資活動収支差額	-900,000	-300,000	-600,000	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	500,000	500,000	0	
財務活動収支差額	-500,000	-500,000	0	
当期収支差額	-560,300	-2,130,000	1,569,700	
前期繰越収支差額	18,585,837	15,979,024	2,606,813	
次期繰越収支差額	18,025,537	13,849,024	4,176,513	